

議案第2号

平成28年度 花巻中央地区コミュニティ会議 事業計画 及び 予算案

1. H28本事業 事業計画

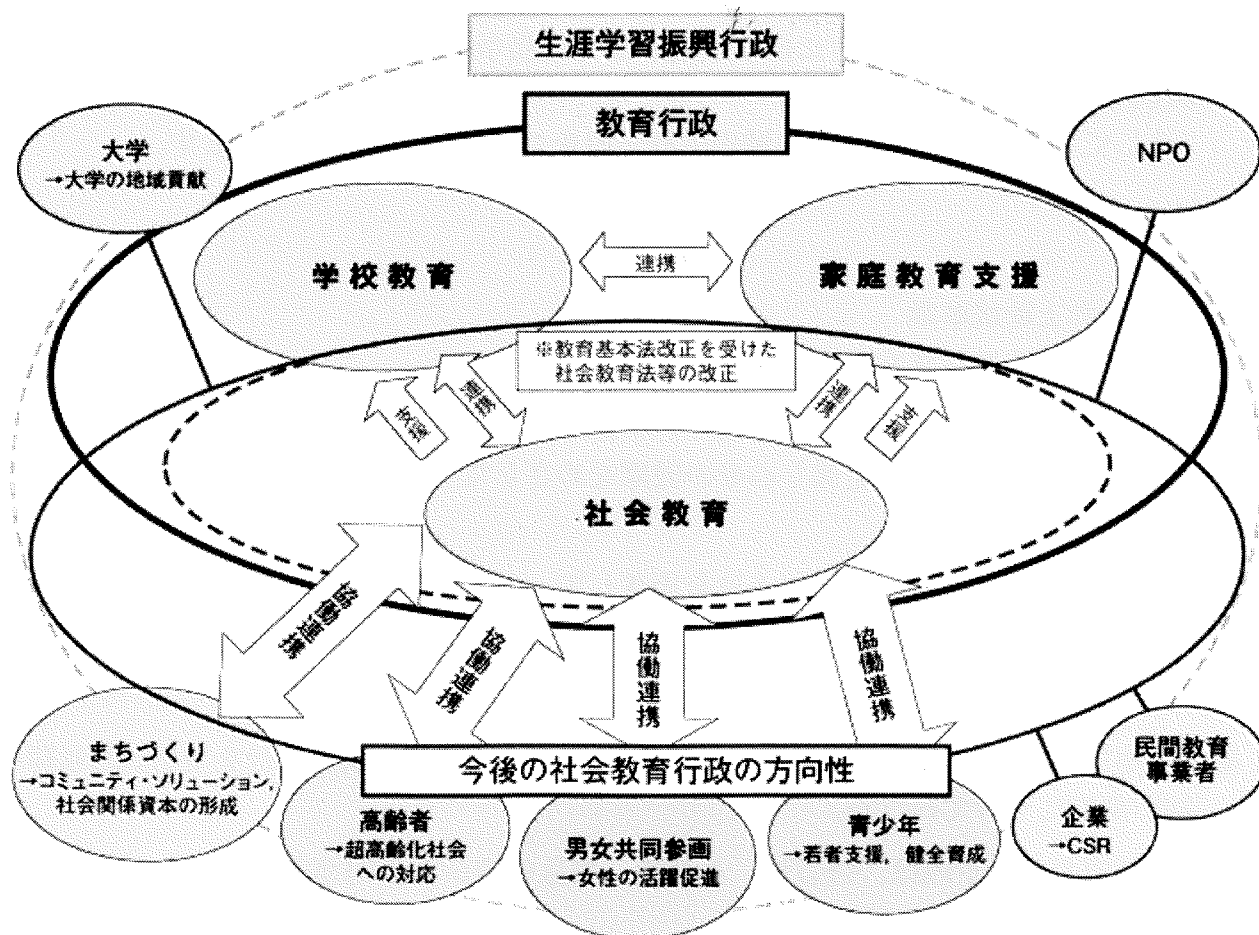
コミュニティの展望

平成28年度から花巻中央振興センターは、本コミュニティ会議が指定管理者として施設を運営し、市職員の常駐は無くなります。また、生涯学習事業も地域で展開できるものは、各地区のコミュニティ(会議等)が実施するなど、今後のコミュニティは、地域における位置づけ及び役割を新たな視点で捉えなおすことも大切な活動の方向となる見込みです。

わたしたち花巻中央地区コミュニティ会議は、まちづくりを単なる夢-ドリームにとどめることなく、ビジョン-展望(具体的な未来像)として、地域の発展を確実なものにするよう、一層積極的に活動を進めたいと考えます。

— 参考 —

図表2-2-1 今後の社会教育行政の再構築のイメージ図



平成24年度文部科学白書 第2章 生涯学習社会の実現と教育施策の総合的推進 から
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201301/detail/1339330.htm

キーワード

要求するまちづくりから 提案するまちづくりへ

- これはよく言われていることですが、「する」はなかなか難しいものです。
限られた交付金ですから、より効果的に、付加価値を生むよう「まちづくり」に費やしたいものです。

人を育て 人が育つまち

- まちづくりは人づくりとも言われます。
かの後藤新平(水沢出身)は、『金を残すのは下だ ものを残すのは中だ 人を残すのは上だ』と言ったといえます。
人が育つまちには人が集まってきます。 安心して子育てのできるまちには若者が集まってきます。 人が集まる所に商業は生まれます。

生涯学習・文教地域

- お年寄りの余暇利用だけが生涯学習ではありません。生涯学習は、生まれた時から始まっています。
平成28年度は、宮澤賢治 生誕120年に当ります。
花巻中央地区には、古きには女学校があり、農学校があり、更には南部藩花巻城の奮起場がありました。
そして 平成28年度から、地域の生涯学習をコミュニティ自ら担います。

事業計画

- 生活環境向上助成事業
— 安全で快適なまちづくりをめざして
- 親睦交流事業
— レクリエーションを通じ心身の健康をめざして
- 社会教育事業
— 生涯学習を軸にした人づくりをめざして

各専門部会の有機的な連携のもとで、この三つを柱にした事業を進める。

補助金要望と事業企画は、第一次受付けを4月以降に、第二次受付けを9月(頃)以降にと、前期/後期に分けて行なう。

補助金要望や事業企画は、公益性、必要性、緊急性等から専門部会が審議し、役員会で適宜決定し、執行する。

2. H28本事業 予算案

H28 花巻中央地区コミュニティ会議本予算

【収入の部】

単位：円

項目	27年度決算額	28年度予算額	内容
交付金	8,060,000	8,060,000	花巻市交付金
雑収入	37,878	0	預金利息, コピー機・印刷機使用料 未定
計	8,098,213	8,060,000	

【支出の部】

単位：円

項目	27年度決算額	28年度予算額	摘要	金額
総務費 (予算 1,631,000) (26%)			事務費	1,060,000
			人件費	800,000
			会議費	200,000
生活環境費 (予算 1,100,000) (19%)	1,565,027	1,600,000	ごみ集積施設整備, 美化緑化推進, 生活環境整備	(20%)
保健福祉費 (予算 630,000) (7%)	558,802	650,000	保健活動, 地域福祉活動	(8%)
教育振興費 (予算 1,100,000) (13%)	1,034,472	1,100,000	教育振興活動, 芸術文化・スポーツ推進 生涯学習	(14%)
産業建設費 (予算 1,700,000) (15%)	1,239,840	1,200,000	土木施設維持補修, 中心市街地活性化	(15%)
防災防犯費 (予算 1,900,000) (19%)	1,557,311	1,450,000	防災対策, 交通安全推進, 防犯活動・施設整備	(18%)
計	8,098,213	8,060,000		

※ 地域づくり交付金年間総額2億円の配分比率は、均等割 50%、面積割 15%、世帯割 35%となっており、平成27年度の花巻中央地区分は、8,060,000円でした。